



「令和7年第1回川崎市議会定例会」が、2月13日から開催され、3月19日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を2月27日に行い、「学校施設における体育館空調設備整備の推進」や「災害への対応について」などについて質問しました。

また、今定例会に提出された「川崎市職員定数条例の一部を改正する条例の制定」や「令和6年度一般会計補正予算」議案など計93件について、審議の結果、全議案とも原案通り可決・同意を決定しました。

市議会報告として、会派代表質問トピックス及び、私の予算審査における質問概要を報告させていただきます。

## 〈会派代表質問トピックス〉

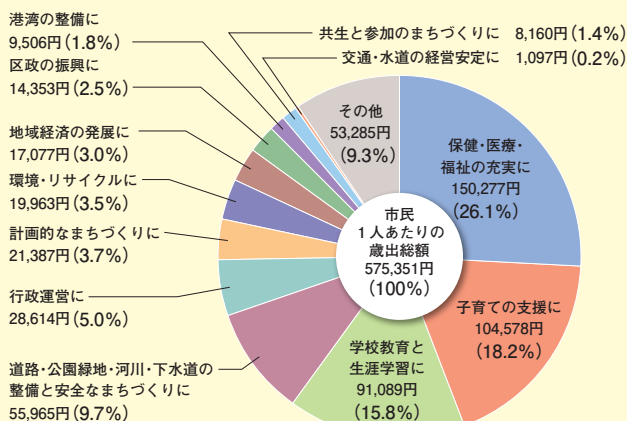
### 令和7年度川崎市予算案について

**質問** 令和7年度当初予算案は、一般会計で約8927億円、前年度と比べ2.5%、約215億円の増となり2年連続で過去最大となっています。歳入では市税収入が約4048億円、前年度比5%、約194億円の増で4年連続過去最大の見込みとなっています。昨年度と同様、他都市と比較しても堅調な様子が伺えますが、主たる要因については。

**回答** 令和7年度予算については、所得及び企業収益の増加による市税収入の増などにより、歳入全体では、収支フレーム（見通し）に対して306億円増となったところです。一方、給与改定の影響や物価高騰等による「管理的経費・政策的経費」増などにより、歳出全体では、収支フレームに対して359億円増となり、その結果49億円と見込んでいた収支不足額は、予算では92億円となり、43億円拡大しました。収支不足については、安定的な市民サービスの提供や先送りできない課題に対応するため、減債基金を活用しているとの答弁でした。

### 市民1人あたりの予算の使いみちは？

一般会計（8927億円）を人口で割り、1人の市民にとって予算がどんな割合で使われているかを図にしました。



※令和7年1月1日現在の推計人口による。

### アピアランスケア助成制度の創設について

**質問** 同制度については、令和4年3月の予算審査特別委員会で、所属する会派の大先輩である故・飯塚正良議員が、がん治療当事者としての視点と他都市の先例等をふまえ最後に取上げた課題であり、制度創設を強く要望してきました。ようやく、令和7年度予算案に助成制度が計上され、政令指定都市で初めて、がん患者のみならず、先天性・事故・がん以外の病気の方等も対象としました。そこで、対象者への効果的な周知・広報について質問しました。

**回答** 広報については、市ホームページや広報物の配布等により周知するとともに、助成の対象となる方は、がんをはじめとする疾患や事故により治療を受けている状況にあると考えられることから、医療機関を通じて相談や情報提供を行うよう協力を求めています。

## 災害への対応について

**質問** マンホールトイレの整備について、令和7年度予算では、新規で9100万円余が計上され、市内全避難所等への整備に向けた基礎調査を実施するとのこと。



本事業については、危機管理本部・教育委員会・環境局・上下水道局が綿密に連携して実施することが肝要です。その上で、進捗管理はどかが担うのか明確にすべきと考えますが、見解と対応を伺います。

**回答** 災害時のトイレ対策事業の進捗管理についてですが、マンホールトイレの整備事業は、多くの関係局区と連携を図りながら着実に事業を進める必要があることから、危機管理本部が中心となり事業の進捗管理を図っていきます。

他にも、

## 「大規模道路陥没事故を受けた対策について」

## 「学校給食物資購入費について」

## 「学校における水泳事業について」

などを取り上げ質問しました。

## 〈予算審査特別委員会トピックス〉

## 下水道マンホール蓋の更新管理

**質問** 下水道マンホール更新事業に関わる令和7年度の予算の詳細と具体的な取組について伺います。また、過去3年間の実績についても伺います。



**回答（上下水道事業管理者）** マンホール蓋の更新に係る令和7年度の予算については、約4億9千万円を計上しているところで、全市で約1,300個を更新する予定です。また、過去3年間の更新実績については、令和4年度は約1,400個、令和5年度は約1,300個、令和6年度は2月末までに約1,100個を更新したところです。

**質問** マンホール蓋の標準耐用年数について、「車道部に設置されているものは15年、その他の場所に設置されているものは30年」とのことです。事故が起きたマンホール蓋については、20年以上使用されている、現在、車道部に設置されて以上使用しているものは、と



**回答（上下水道事業管理者）** 15年以上使用しているマンホール蓋については、車道とその他の場所の区別はできていませんが、約8万4千個あることを確認しています。

**質問** 各マンホールの形式や使用年数を適正に把握し、ロック付きのマンホール蓋への更新をシステム管理する仕組みや、計画的な更新計画の策定を進める必要があります。見解と対応を伺います。

**回答（上下水道事業管理者）** マンホール蓋の更新状況を管理する仕組みや、蓋の更新計画については、道路交通の安全確保のためにも必要と考えており、現在取り組んでいるアセットマネジメントの中に、組み込んでいきたいと考えており、令和7年度からその作業に着手していきます。

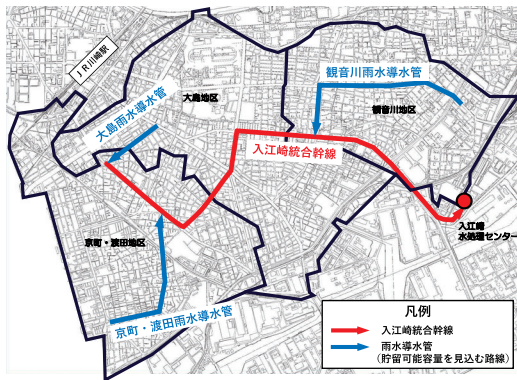
## 川崎区の浸水対策重点化地区の取組

**質問** 川崎区における重点化地区の浸水対策の取り組みについては、2月10日の環境委員会において報告がありました。

令和7年度の予算の詳細と具体的な取組について伺います。また、昨年10月8日に入江崎統合幹線の基本設計委託が入札不調となっていた。基本設計委託の取組状況と今後のスケジュールを伺います。

**回答（上下水道事業管理者）** 令和7年度予算については、入江崎統合幹線の発進立坑用地を確保するための関連工事費として約1億7千万円、また、詳細設計などの委託費として約2億円を計上しています。不調となっていた基本設計委託は再発注を行った結果、1月に契約を締結し、現在、現地調査を進めているところです。今後については、上半期を目途に入江崎統合幹線のルートや深さなどを取りまとめる予定です。

The map shows the Inagasaki Integrated Main Line (入江崎統合幹線) in red, connecting the Inagasaki Water Treatment Plant (入江崎水処理センター) to the Inagasaki Integrated Main Line. The map also shows the locations of the Inagasaki Water Treatment Plant (入江崎水処理センター), the Inagasaki Integrated Main Line (入江崎統合幹線), and the Inagasaki Water Treatment Plant (入江崎水処理センター). The map is divided into several areas: Inagasaki Water Treatment Plant (入江崎水処理センター), Inagasaki Integrated Main Line (入江崎統合幹線), Inagasaki Water Treatment Plant (入江崎水処理センター), Inagasaki Integrated Main Line (入江崎統合幹線), Inagasaki Water Treatment Plant (入江崎水処理センター), and Inagasaki Integrated Main Line (入江崎統合幹線).



他にも、

「京浜急行大師線連続立体交差事業費」

「プラスチック資源循環と一括回収の取組」

などを取り上げ質問しました。

連絡先：〒210-0835 川崎区追分町6-2 エステート森101  
TEL. 044-223-6625 / FAX. 044-223-6635

**LINE**  
**公式アカウント**



**電話連絡は平日の10時～17時**

留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。

○昭和39年1月28日生まれ

○1982年 JFE(旧日本钢管)京浜製鉄所入社

○2014年 JFEスチール東日本製鉄所(京浜地区)総務部

○2023年 川崎市議会議員3期目当選  
【党任委員会】2025年度 総務委員会

◇みらい川崎市議会議員団 副団長

◇川崎市バレーボール協会副会長

**お住いの地域でお困りのことがありましたら  
遠慮なく連絡をください**

